自殺研究と研究者の思い

Le Tam Tri (レ・タム・テリ)

学際的社会研究 (ISR) センター

フェニカー大学 (Phenikaa University)、ハノイ、ベトナム

2021年5月31日

OSF Preprints, DOI: 10.31219/osf.io/9mxje

「その時が来ると、死を受ける。だが、その時はまだ来ない。」皮肉で、普段、自然なことは人にとって簡単なことじゃないと思います。

人は色々な顔をかぶって人生を過ごします。どのような強い精神でも人間の心には悩み、苦しみ、痛み、弱さがあります。人生の味はいつも甘さじゃないと知っていても闇の中では幸せの影を必死に探すのです。生死の話題は重く、人の考えは深く、自分は何が分かるか、他人は何が分かるか、そのような答えの無い質問から「研究」が始まりました。

社会には、自殺がまるで禁止な話とみなされるのです。なぜなら、それは「怖い」、「痛い」、あるいは「したい」という頭の中の反応でもあります。本能的にも、理性的にも、感情的にも、嫌でしょう。

私と共著者は、大学生のメンタルヘルス（うつ病、ストレス、社会的つながりなど）について研究を行いました[1-3]。ですが、自殺を研究始めたとき、使った理論と方法論は何か足りないと感じました。

メンタル問題の中、自殺は一番深刻な問題と言うのも当然だと思います。「自殺願望はどこから出てくる？」と考えて、足りないものはメカニズムと気付きました。新しいアプローチで、「Mindsponge」という学説[4,5]を適用して希死念慮の心理的プロセスが理解できました。その研究論文[6]より、自殺願望は推論に基づく判断（最適な選択）からですが、心理的な情報プロセッシングには問題があります。例えば、役に立つ情報が足りないこと・足りないと思うこと、死や自殺に関する情報を受けること、あるいは信用できない情報ソースに扱うことです。議論は複雑なので、詳しくは本論文（英語）を参照してください（<https://www.mdpi.com/1660-4601/18/7/3681/htm>）。

その論文は、「Alice in Suicideland」（自殺の国のアリス）という隠喩を利用し、自殺を考えている人の頭の中の世界を観察し理解する意味を伝えたいです。正しく理解できないと効果的に助けられないと思います。自殺に近づいたことがあった私自身にとって、これは研究者からの考えだけでなく、人から人への思いです。

参考文献

1. Nguyen, M. H., Le, T. T., & Meirmanov, S. (2019). Depression, Acculturative Stress, and Social Connectedness among International University Students in Japan: A Statistical Investigation. *Sustainability*, 11(3), 878. <https://doi.org/10.3390/su11030878>
2. Nguyen, M.-H., Ho, M.-T., La, V.-P., Nguyen, Q.-Y. T., Ho, M.-T., Vuong, T.-T., Le, T.-T., Nguyen, M.-C., & Vuong, Q.-H. (2020). A Scientometric Study on Depression among University Students in East Asia: Research and System Insufficiencies? *Sustainability*, 12(4), 1498. <https://doi.org/10.3390/su12041498>
3. Nguyen, M.-H., Ho, M.-T., Nguyen, Q.-Y. T., & Vuong, Q.-H. (2019). A Dataset of Students' Mental Health and Help-Seeking Behaviors in a Multicultural Environment. *Data*, 4(3), 124. <https://doi.org/10.3390/data4030124>
4. Vuong, Q. H. (2016). Global Mindset as the Integration of Emerging Socio-Cultural Values Through Mindsponge Processes: A Transition Economy Perspective. In J. Kuada (Ed.), *Global Mindsets: Exploration and Perspectives* (pp. 109–126). Routledge. <https://doi.org/10.4324/9781315736396-8>
5. Vuong, Q. H., & Napier, N. K. (2015). Acculturation and global mindsponge: An emerging market perspective. *International Journal of Intercultural Relations*, 49, 354–367. <https://doi.org/10.1016/j.ijintrel.2015.06.003>
6. Nguyen, M.-H., Le, T.-T., Nguyen, H.-K. T., Ho, M.-T., Nguyen, H. T. T., & Vuong, Q.-H. (2021). Alice in Suicideland: Exploring the Suicidal Ideation Mechanism through the Sense of Connectedness and Help-Seeking Behaviors. *International Journal of Environmental Research and Public Health*, 18(7), 3681. <https://doi.org/10.3390/ijerph18073681>